

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和3年 会報
新年号



一松 青海苔漁場

明けまして
おめでとうございます



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

魅力あるまちづくりを 目指す小高村政

明けましておめでとうござ
います。皆様におかれまし
ては、お健やかな新春をお迎
えのこととお慶び申し上げ
ます。

平素から「おだか陽一後
援会」にご支援、ご高配を賜
り心から感謝を申し上げます。
さて、昨年はコロナ禍の影

響をまともを受け、四月には
非常事態宣言が発令され、村
も私たちの暮らしも大きく
変化した一年でありました。
係る状況のなか、後援会活
動については、一月に大勢の
会員の皆様が出席した総会
において、ご承認いただきま
した行事の一部を中止せざ
るを得なくなったことにつ
いて、「コロナ禍の影響とはい
えお詫びを申し上げます。
一方、昨年は村長選挙の年
でありました。三期目を目
指した小高陽一君の当選に向
けた後援会活動及び選挙活
動については、外出自粛等に
より活動が制限されました。
そうした中で、出来る活動
を精一杯行い、お陰様をもち
まして無投票で三期目の栄
に浴することが出来ました。
今年の小高村政は「魅力が
あり住んでよかったまちづ
くり」を実現し、人口減少を
くい止めるために、八積駅周
辺整備事業の円滑な推進お
よび、村長自身のトップセー
ルスによるふるさと納税額
の維持向上、ならびに千葉県
唯一の村の利点を活かした
効果的な施策等、村民の負託

に応えるための諸施策を
実施していくことと思
います。そのため、後援会も組織
一丸となって、小高村長を強
力に支援していくことをお
誓い申し上げます。
最後に、コロナ禍の終息を
祈りながら、皆様のご健勝、
ご多幸をご祈念申し上げます。
おだか陽一後援会」を代表し
ての年頭のご挨拶と致しま
す。

年頭の挨拶



村長 小高 陽一

コロナ禍に耐えて

村民の皆様、そして後援会
の皆様、新年明けましておめ
でとうございます。
本当に昨年は新型コロナウイルス
ウィルスに振り回された一
年でした。
村民の皆様方には手指消
毒、うがい、手洗いの励行、マ
スク着用、また三密を避ける
ようお願いしました。

そして、手に入りにくかつ
たマスクが私の同級生の配
慮で十万余輸入でき、長生郡
市で共同購入しました。本村
では小中学生、七十五歳以上
の高齢者全員、さらに村内福
祉施設の職員に五枚ずつ配
布することができました。
その結果、本村はずっと感
染者ゼロを続けてきました
が、目に見えない敵は忍び寄
ってきます。

また、子育て世帯や売り上
げが減少した事業者に給付
する国や県の助成金に、村独
自で上乗せをして支給しま
した。この事業には、ふるさ
と納税による寄付が大変役
立ちました。

まだまだ先行きが見えな
い新型コロナウイルスです
が、一刻も早くワクチンが国
内で承認され、国民への接
種が始まることを祈ります。

村長選挙

無投票三選

昨年は村長選挙という勝
負の年でした。結果的には無
投票で三度目の当選を果た
すことができましたが、一昨
年十二月議会での出馬表明
以降、後援会員の皆様にはコ
ロナ禍で動けない中、郵便に
よる会員募集、会報配布など
大奮闘していただきました。